

3-4. 警告・注意喚起サイン（車輦系）：VD・VE・VF



1) 表示する情報の考え方

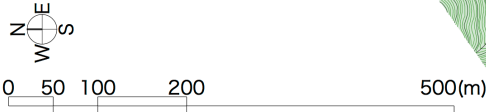
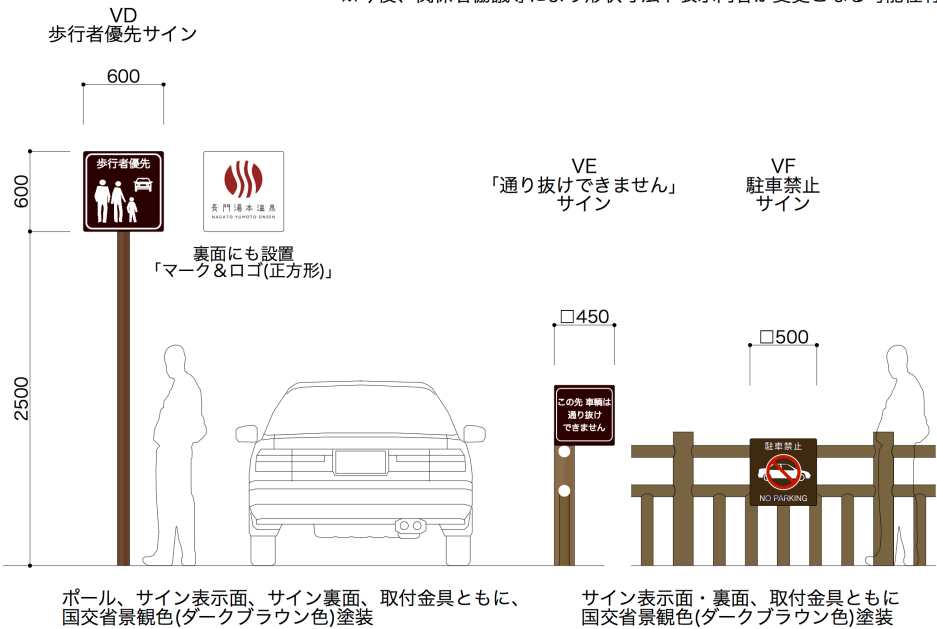
- ①法定外看板として、注意喚起や行動規制に利用する。
- ②目的のために過剰な表現とならないようにする。

2) 配置の考え方

- ・既設のポール類や擬木柵等への添架を基本とする。
- ・配置すべき場所にポール類がない場合は新規ポールによるサインを配置する。

3) 警告・注意喚起サイン本体のデザイン

※今後、関係者協議等により形状寸法や表示内容が変更となる可能性有り。



3-4-1. 警告・注意喚起サイン／歩行者優先サイン

・VD1／市道湯本線（県道34号線側）湯本温泉旅館協同組合ビル前



VD1.既存F型標識柱
(google street viewより転載)

「歩行者優先サイン」
既存F型標識柱に新規サイン板を設置
(不可の場合は新規ポールに設置。配置再検討)



※ピクトグラム
は検討中



・VD2／市道湯本線（国道316号側）公衆トイレ脇

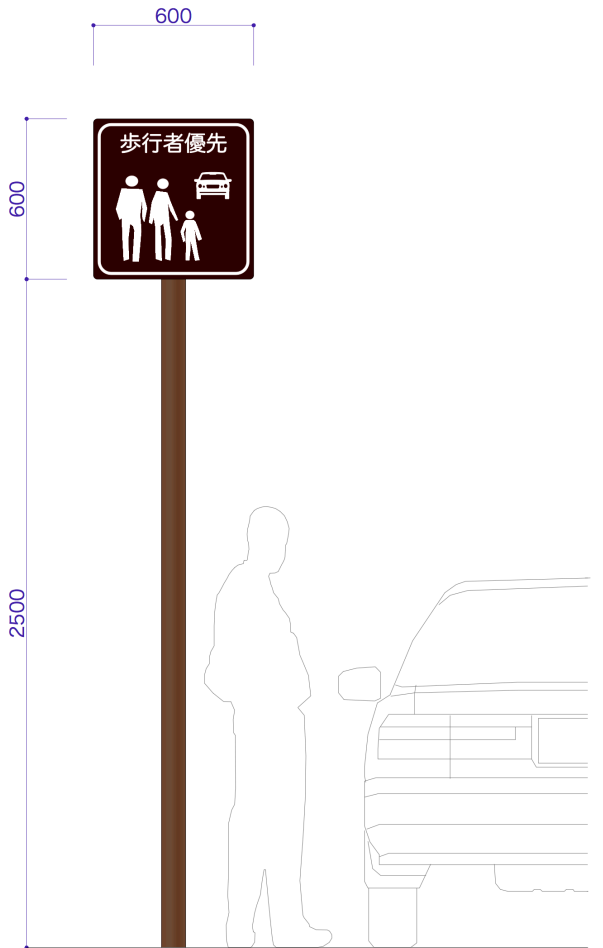


VD21.市道湯本線入口（国道316号側）
(google street viewより転載)

「歩行者優先サイン」
新規ポールに設置



※ピクトグラム
は検討中



3-4-2. 警告・注意喚起サイン／通り抜けできませんサイン（千代橋、松声橋、原田屋旅館前）

・VE1／千代橋左岸橋詰



VE1.千代橋左岸橋詰

「通り抜けできませんサイン」
既存高欄に設置

長門湯本温泉プロジェクトの「絵になる場所」のひとつ
のため景観的にはサインの設置は好ましくない。
但し、サインがなければ一般車輛の進入が考えられる。
橋上に可動型サインの設置も考えられるが、管理を誰が
行うか等課題有り。

サイン無しを基本として検討中



※表示内容は検討中



・VE2／松声橋左岸橋詰



VE2.松声橋左岸橋詰

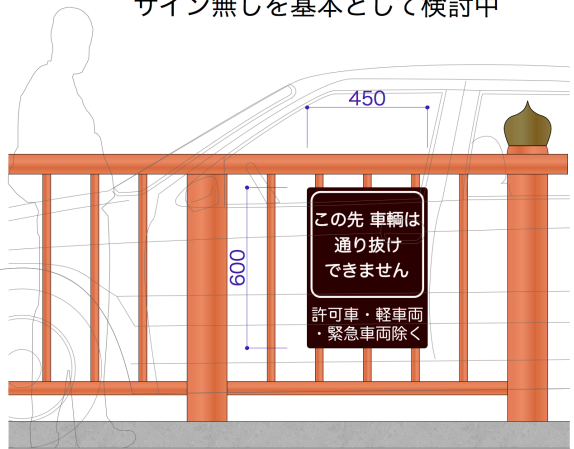
「通り抜けできませんサイン」
既存高欄に設置

景観的にはサインの設置は好ましくない。
但し、サインがなければ一般車輛の進入が考えられる。

サイン無しを基本として検討中



※表示内容は検討中



・VE3／原田屋旅館前



VE3.原田屋旅館前

「歩行者専用サイン」
既存擬木柵に設置

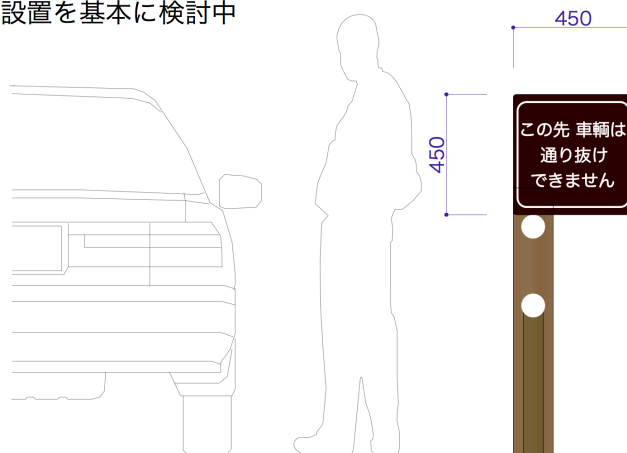
→

景観的にはサインの設置は好ましくない。
但し、サインがなければ一般車輛の進入が考えられる。

サイン設置を基本に検討中



※形状寸法・表示内容
は検討中



3-4-3. 警告・注意喚起サイン／駐車禁止サイン（市道湯本線など）

・VF／市道湯本線（左岸道路）など



VE3.左岸道路など



「駐車禁止サイン」
既存擬木柵に設置



- ・景観的にはサインの設置は好ましくない。
- ・大型の既存サイン（駐車禁止）が5カ所あるが効果がない。
- ・当該道路は駐車禁止となっているがサイン無しではドライバーが認識できない可能性がある。



サイン設置を基本に検討中
 ・既存の駐車禁止大型サインは撤去
 ・幅員4m区間に設置
 ・最低限の数量（設置箇所）
 ・柔らかい表現の表示とする等



※形状寸法・表示内容
は検討中

